



国土を整え、全力で備える
国土交通省中国地方整備局
浜田河川国道事務所

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau



お知らせ

2018 (平成30年) 7月13日

資料提供先：島根県政記者会
浜田記者クラブ
江津記者クラブ

「平成30年7月豪雨」出水における治水事業の効果について ～水防災事業が効果を発揮(島根県 江の川)～

江の川流域では、梅雨前線の影響により江の川上流の広島県で記録的な大雨となり、7月5日朝方から7日昼頃にかけて激しい雨となりました。江の川川本地点上流の流域平均累加雨量は318mm(7月5日1:00～7日12:00)に達し、江の川下流域(浜田河川国道事務所管内)においては既往第2位の出水となりました。

江の川下流(浜田河川国道事務所管内)においては、水防災事業により整備完了した地区の浸水被害が防止されたと推定されます。

※各数値は速報値であり、今後変わることがあります。

【問い合わせ先】

○ 国土交通省 浜田河川国道事務所

副所長(河川)

(管理担当) 河川管理課長

(広報担当) 調査設計課長

かねはら かつひで
兼原 勝英

はら けいいちろう
原 啓一郎

ふじた しんじ
藤田 新治

TEL 0855-22-2480(代表) FAX 0855-23-5023

URL <http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/>

治水事業の効果

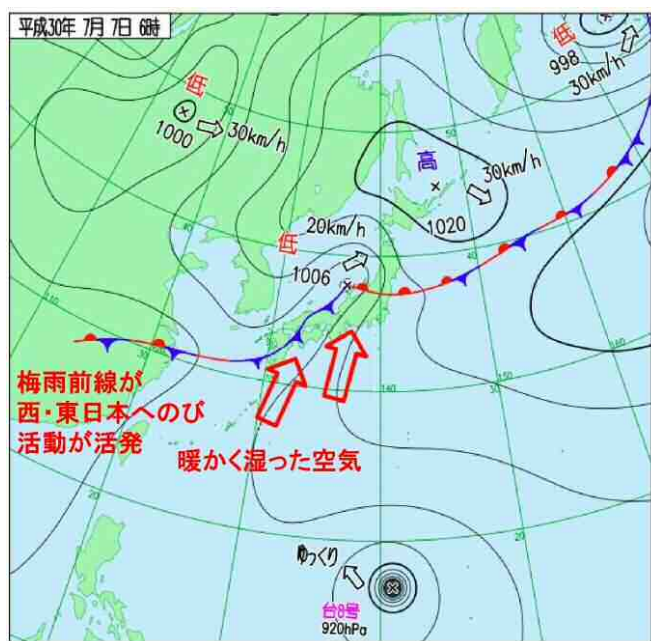
～平成30年7月7日梅雨前線にとまなう出水～

平成30年7月5日から7日にかけて梅雨前線が西日本と東日本へ停滞し、この前線へ向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響により前線の活発な活動が続いたため、西日本から東日本にかけて記録的な大雨が続き、広島県を始め、九州北部、近畿、四国地方に至る広い範囲に渡って大雨特別警報が発表されました。

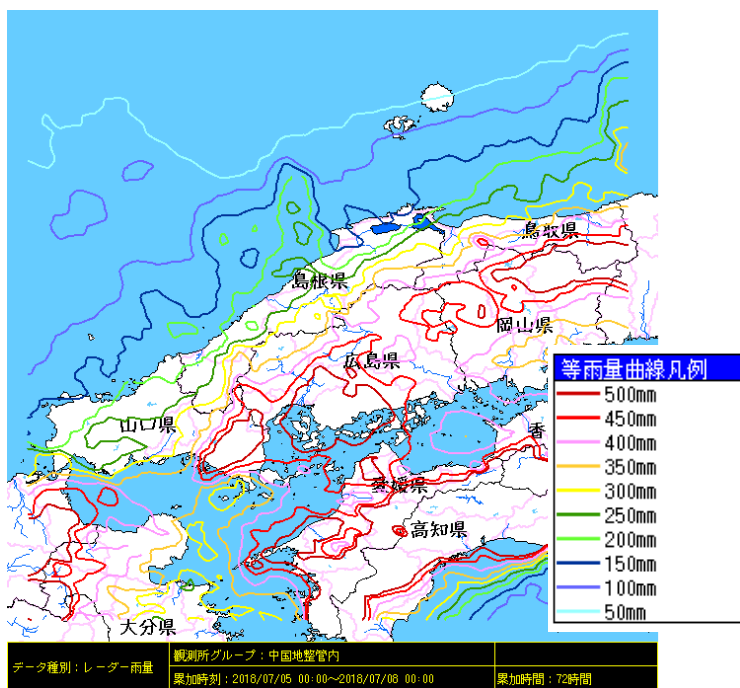
この大雨により、江の川水系神野瀬川を除く、国土交通省管理区間全ての観測所において、氾濫危険水位を超えたほか、尾関山水位観測所(広島県三次市三次町五日市)では計画高水位を超えました。

そのような中でも、土師ダムや灰塚ダムにおける防災操作やこれまでの堤防整備により、江の川下流で水防災事業により宅地嵩上げをした地区では、水が溢れることなく浸水被害を防止しました。

天気図(7月7日6時)

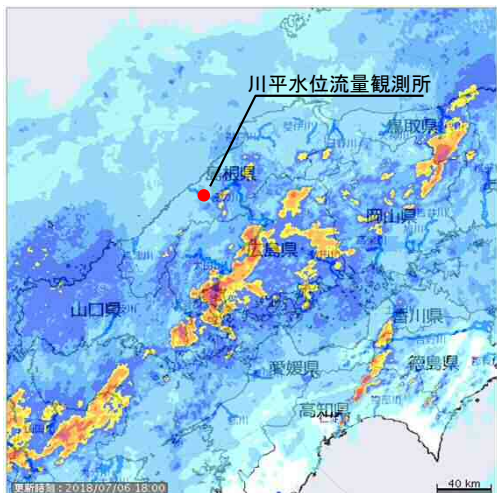


等雨量線図(7/5 0:00～7/8 0:00 累加雨量)

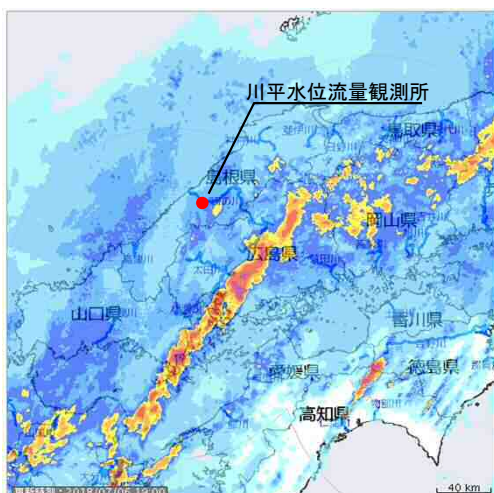


レーダー雨量(XRAIN)

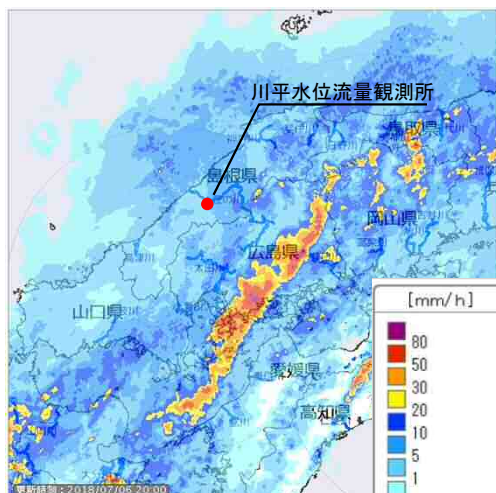
(気象庁ウェブサイト)



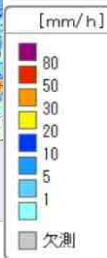
7/6 18:00



7/6 19:00

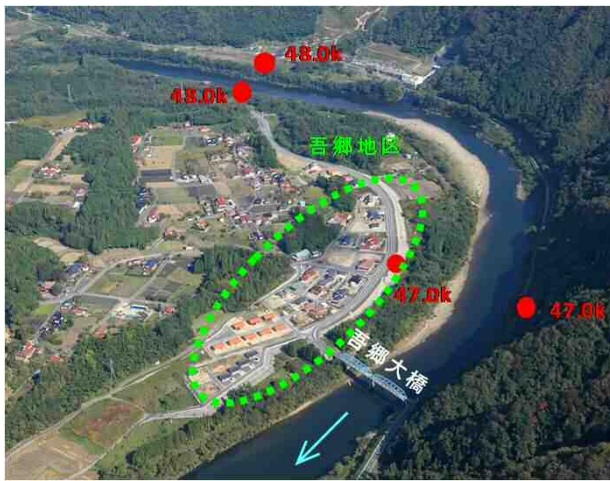


7/6 20:00



水防災事業が効果を発揮(島根県 江の川) (国管理)

- 梅雨前線の影響により、江の川川本地点上流の流域平均累加雨量は318mm(7月5日1:00~7日12:00)に達しました。
- 島根県邑智郡美郷町吾郷地区では、平成19年度に完成した堤防により、昭和47年7月洪水の規模が発生した場合でも、安全に洪水を流下させることが可能となっています。
- 今回の出水においては、堤防整備により約23.5haの土地の浸水が防止されたと推定されます。



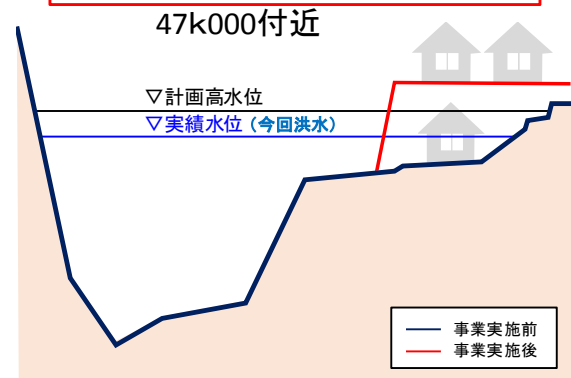
【吾郷地区の水防災事業概要】

- 事業諸元: 延長:760m
宅地嵩上げ:9戸(現在27戸)
- 工期:平成14年度~平成19年度

水防災事業箇所を実施しなかった場合の被災状況

地先名	浸水家屋数(戸)			浸水面積 (ha)
	床上	床下	床下床上 合計	
近原	2	1	3	4.8
川越(下流)	5	0	5	2.9
坂本	9	0	9	6.3
渦巻	7	0	7	10.8
鹿賀(下流)	6	0	6	7.4
下三島	13	16	29	25.6
多田	10	0	10	16.4
市井原	5	0	5	6.6
吾郷	6	3	9	23.5
郷上	29	0	29	17.9
上ヶ畑	3	0	3	3.2

水防災事業により溢水、浸水を防止



今回発生した既往第2位の洪水においても、事業完了箇所において

家屋の浸水被害なし

※本資料の数値等は速報値を含むため、今後の調査で変わる可能性があります。